

経営健全化方針に基づく取組状況（令和4年度）

1 法人名

公益社団法人島根県林業公社

2 経営健全化方針を策定した理由

平成29年度末において、損失補償額の標準財政規模に対する割合が6.69%となり、実質赤字比率の早期健全化基準である3.75%を上回ったため

3 財政的リスクの状況

（単位：百万円、%）

項目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額
損失補償額（A）	17,434	16,866	16,275	15,657
標準財政規模（B）	274,325	279,440	289,063	277,976
（A）／（B）	6.36	6.04	5.63	5.63

4 主な取組状況（令和4年度）

（1）森林整備事業

○収穫事業

- ・収穫事業を積極的に実施する事業体と林業公社が連携しながら原木増産に取り組む「公社収穫事業に係る専門班制度」を令和2年度に設け、県内18事業体と「5カ年の事業計画」を策定。令和4年度には新たに6事業体との協定を締結し、24の協締結事業体による着実な生産体制を整えた。
- ・収穫事業は区域面積166ha（伐採面積62ha）を完了（目標：区域面積160ha）。25,596 m³の原木を生産。

○保育事業（搬出間伐）

- ・130haの搬出間伐を実施し、4,656 m³の原木を生産。（目標：8,550 m³）
- ・公社事業地の多くが収穫期を迎えつつあり、間伐は徐々に減少する見込み。

○林業専用道開設

- ・7,357m（7路線）の開設に着手し、4,085m（4路線）を完了。（目標：5,000m）

（2）不成績林処理事業

17団地67haに係る公庫借入金38,785千円の繰上償還を実施した。

（3）長伐期契約変更事業

2団地の変更契約手続きを完了。契約延長が困難な6団地のうち、収益性のある2団地は立木販売を行い、収益性のない4団地は伐採を行わず、契約終了の手続きを行

った。

(4) 高性能林業機械貸付事業

- ・令和4年度から島根県の「林業公社貸付機械導入支援事業費補助金」を活用し、収穫事業に取り組む林業事業体に対し、高性能林業機械を貸付ける事業を開始。
- ・高性能林業を貸付することで、林業事業体の機械導入の負担を軽減するとともに、効率的かつ着実に収穫事業を推進する。
- ・令和4年度は14事業体への貸付を決定し、年度内に2台の貸付が完了した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位:千円、%)

項目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額
資産合計	83,103,038	83,131,990	83,329,388	83,477,163
流動資産	541,255	649,138	747,247	720,783
固定資産	82,561,783	82,482,852	82,582,141	82,756,379
(うち森林資産)	82,004,971	81,943,147	82,045,051	82,089,046
負債合計	61,121,823	61,303,101	61,538,988	61,620,056
(うち県からの借入金)	36,894,692	37,706,621	38,501,128	39,294,026
正味財産合計	21,981,215	21,828,889	21,790,401	21,857,106

(正味財産増減計算書から)

(単位:千円、%)

項目	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額
経常増減額	△4,163	△32,585	△14,291	△14,751
経常収益	303,309	341,152	504,233	455,455
経常費用	784,948	933,643	1,033,503	1,030,554
森林資産勘定振替額※	477,476	559,906	514,979	560,348
経常外増減額	△116,147	△279,416	△209,695	△206,500
経常外収益	101,346	126,876	97,627	148,911
経常外費用	217,493	406,292	307,322	355,411
正味財産増減	△120,310	△312,001	△223,986	△221,250

※森林資産勘定振替額

森林資産取得原価(当該年度の森林整備に要した費用からその森林整備に係る収入を差し引いた価額)として、貸借対照表の森林資産に計上する。(林業公社会計基準)